

2024 年度

学生協働支援隊 風早地域

地域マップのデジタル化

1. 背景と目的

● 背景

住民自治協議会が設立され10年が経過し、それぞれの部会や団体が事業を展開している。特に、安芸津町の地域特性やこれからの高齢化社会を踏まえ、風早では防災活動や見守り活動を積極的に行っている。これらの活動では、活動の範囲や地域の区域を知ることが大事であるが、以下4つの課題がある。

①知っている人の高齢化

②知っている情報が知っている人の頭の中に入っている

③情報が更新されていない

④情報が紙媒体であり、汎用性が低い

このことを踏まえ、デジタルツールに親しみのある学生協働支援隊が自治会長が紙に書き起こしたマップをデジタル媒体に落とし込む。

自治協として、これから先の地域活動を担う住民が話し合うための基礎資料を作成する。

● 目的

自治会と班の区域を明らかにし、デジタル上に落とし込むことを目的に、自治協だけでは作成が困難であるデジタルマップの制作を学生協働支援隊が支援する。

2. 実施概要

(事前相談期間)

2023年11月～ コーディネーターと地域側でマップ化の事前相談

2023年12月～ コーディネーターによるツールの提案（デジタウン）

2024年1月25日 コーディネーターによるヒアリング

(事業実施)

2024年2月21日 コーディネーターによる使用する資料提案

2024年2月29日 自治会長との自治会区域線引き作業

2024年3月6日 学生によるマップ反映

2024年3月7日 学生によるマップ反映

2024年3月10日 学生によるマップ反映

2024年3月22日 マップの提出及びマップ修正作業

～自治協によるマップ確認期間（自治会長含む）

2024年3月25日 コーディネーターによるマップ修正及び印刷作業

2024年3月27日 コーディネーターと自治協とで打合せ

～コーディネーターによるマップ修正

2024年3月28日 コーディネーターによるマップ修正及び印刷作業
2024年3月29日 コーディネーターによるマップ修正及び印刷作業
2024年4月10日 コーディネーターと自治協とでマップ最終確認
2024年4月22日 コーディネーターによるマップ修正及び印刷作業
2024年4月26日 自主防災会議参加

(事業終了)

3. 実施結果

● 写真 [googlephoto URL](#)

[20240229 学協_風早_マップ作成 - Google フォト](#)

4. 今後に向けて

風早地区の住民が今後の地域活動に関して話し合うための基礎資料は作成できたため、自治協議会や地域住民を中心に、このデジタルマップを活用して更なる地域活動を進めていく事になった。現状では具体的な地域活動のイベント案等はないが、今後何か地域活動を行う事になれば学生協働支援隊としても積極的に運営支援を行いたい。

【自治会長との風早マップ作成】

【日時】2024年2月29日（木） 18:30~19:30

【場所】風早地域センター

【参加者】合計22名（学生4名、コーディネーター3名、地域14名、市1名）

【内容】

● 実施内容

風早地区の詳細なマップを作製するために風早地区の自治会長の方々と一緒に各自治会の範囲を地図に書き込んで確定させる作業を行った。その過程で自治会長の皆さんと自治会についてや自治会の雰囲気についてなどのお話を聞いた。



地図に自治会の範囲を記入している風景

● 今後に向けて

各自治会長に記入していただいた地図を基に、学生が情報をデータ上に起こすことになった。

【当日の感想】

- ・実家の地域には自治会がなく自治会という存在そのものに馴染みがなかったので、今回初めて知ることばかりでとても勉強になった。
- ・風早という地域に馴染みが無い状態で知らない人と知らない地区の線引きの作業で緊張したが、作業を通して会話のできたので良い経験となった。
- ・同じ地域に住む人でも、誰の家がどこにあるのか、どんな施設があるのかの情報量に差があったことが印象的だった。
- ・地域の方々にしか分からない作業だったので、地域の方も分からないとなった時に、自分には何もできず困ってしまった。

【風早マップ作成】

【日時】2024年3月22日（金） 9:30~12:00

【場所】風早地域センター

【参加者】合計8名（学生2名、コーディネーター2名、地域4名）

【内容】

● 実施内容

前回の作業を基に作成した地図を更に精査して、不明だった自治会の区域や範囲を確定させる作業を行った。また、地図が完成した後の利用方法について自治協議会の方針を確認した。



地図の詳細を確認している図

● 今後に向けて

詳細が判明した箇所は追加でデータに起こし、また今回も自治会や班が判明しなかった地域は、事務局が担当を割り振り、自治会長や班長に確認を取って頂くことになった。

【当日の感想】

- ・ 前回詳細が分からず不明となっていた箇所が多くあったため地図が完成するのか少し不安だったが、今回で全体の8割は完成したと聞いてほっとした。
- ・ 自分の家も回覧板が回ってくるがどこの自治会なのか知らなかったため、このような地図を作成することはとても意味があると思った。

【風早マップ】

【日時】2024年4月26日（金） 19:00~20:20

【場所】風早地域センター

【参加者】合計23名（学生2名、コーディネーター1名、市職員1名、地域19名）

【内容】

● 実施内容

風早地域センターで行われた自主防災会議に参加し、完成した地図を各自治会長さんや地域の方と共有した。自治会長からコメントは特になかった。



風早地区の自主防災会議に出席している図

● 今後に向けて

配布された資料を元に、自治会長が自主的に「やりたいこと」が出てくることを願うことになった。自治協議会としては、自治会長や住民が話し合うための土台作りを行うスタンスをとっている。自治会長、自治協が連携して実施することが出てきたら、学生協働支援隊として運営支援を行う。

【当日の感想】

- ・ 地図作りを通して街を俯瞰的に見ることができた。
- ・ 手間と時間をかけて制作したので、有効に活用してもらえると嬉しい。
- ・ また地図に加筆するときは是非お手伝いしたい。

【学生協働支援隊の感想】

・地図作りのイベントとその後のマップ作製を行ったが、地図作りを通して地域の方と仲良くなったことが印象的だった。今回は学生協働支援隊と風早地域住民で各自治協の境界を定めていたが、今後はマップ作りの経験を活かして、防災マップを世代間交流の一つとして作ったり、作ったマップで子供向けイベントとして境界線当てイベントなどマップから地域を知るイベントができれば楽しそうだった。

・最初は自治協の地図を作るというイメージが湧かず、意味や意義を理解しきれなかったが、実際にマップ作成に関わる会議や作業に携わってみてその重要性が良く分かった。私の地元では自治会にあまり馴染みがなかったのも、今回風早地区の皆さんとお話しできて沢山の物を得ることができた。今後は作成したマップにもっと手を加えてブラッシュアップしたり、マップを活用したイベントを開催したりと、マップを通した地域活動ができれば良いのではないかと考えた。

・マップ作りという作業を通して、これまでもたびたび訪れていた風早の町を従来とは異なる視点で俯瞰的に知ることができた。また、それは僕たち学生だけでなく、風早に住む自治会長さんたちも同じだったのではないかと印象を受けた。普段は特に意識することなく生活されている自治会の境界線や家の場所など、マップ上で線を入れる作業を通して改めて「どうじゃったかいね？」と考えておられたので、風早の地域に暮らす方にとっても地域を見つめ直すきっかけになったのではないと思う。活動を通して嬉しかったことは、風早の自治会長さんたちとマップ上で線引きを行う作業の際に、「ここは～があるんよ」と風早の町についていろいろと説明して下さったことだ。町のことをもっと知りたいと思ったし、地域の方に教えて頂きたいと思った。